一般社団法人日本知的障がい者フットソフトボール連盟『かわら版』（NO２＝通算６９号）

令和８．６．１（月）　　発行責任者：三枝啓巳

はじめに：パラ・スポーツが今、注目されています。パラ・スポーツは、障がいのある方々がスポーツ活動に参加し、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに国民の障がいに対する理解を進め、障がい者の社会参加の推進に寄与することに大きな意義があります。
特に、本連盟は、知的障がい者が自立・自律をめざし、多様な支援者の力を借りながら生涯にわたって自己充実とよりよく生きようと挑戦する生き方をスポーツ（フットソフトボール競技）活動を通じて発信していきたいと考え、広報誌「かわら版」を発行することにしました。年齢・世代及び障がいの有無に関係なく多くの皆様のご理解・ご協力並びにご意見を期待しております。

競技団体名称変更「一般社団法人日本知的障がい者フットソフトボール連盟」（令和5年3月14日登記）

１　第２５回全国障害者スポーツ大会青森大会出場のための各地区予選会情報

（青森県チーム）

「東北・北海道地区」：令和８年５月３１日（日）八戸市で、リハーサル大会として開催されました。青森県チームは交流戦ではありますが、初めての試合でした。今回のスポーツ大会参加を契機としてスポーツ活動及びチームとしてのスポーツ振興が継続することをフット連盟としては切望します。岩手県チームが仙台市チームを下して代表権を獲得しました。

「関東地区」：令和８年５月１０日（日）東京都の引受けで、５チームが参加して開催されました。茨城県チームは不参加でした。チームの存続が厳しくなっているようです。群馬県は、令和１１年第２８回全国障害者スポーツ大会開催を控えており、一度低調になっていたチームを立て直して参加されたようです。
東京都、埼玉県、栃木県、千葉県のチームを加えて激戦が展開されたようです。東京都（⑬－３）埼玉県が決勝戦を戦い。東京が代表権を獲得しました。

「北信越東海地区」：令和８年５月３１日（日）福井県敦賀市きらめきスタジアムで、新潟県、富山県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県の６チームが参加しました。三重県は不参加でした。決勝は、静岡県（⑩－９）福井県が戦い、大接戦でした。観客も多くて素晴らしい光景が展開されました。

２　フット連盟情報・・フット連盟予算書（概要）

「収入の部」
①繰越金（見込み）６５０，０００円　②団体加盟金３０，０００円　③団体加盟金（会費）１３０，０００円　④大会参加費１８０，０００円　⑤ＪＳＣ助成金２，１８５，０００円　⑥協賛金４０００，０００円　⑦寄付金、利子等１，０００円　合計３，５７５，０００円です。

「支出の部」
①（一社）全日本知的障がい者スポーツ協会年会費１０，０００円　②大会謝金６１６，０００円　旅費７８０，０００円　③賃借料８６５，４８０円　④ホームプレート及び投手版２６８、０００円　⑤傷害保険料８１，９２０円　需用費６６，２００円　通信運搬・振込料３６，０００円　印刷製本１１５，６００円　会議費６０，０００円　⑥審判員講習会経費９０，０００円　⑦感染症対策費５９，９１２円　⑧雑費２０８，０００円　⑨租税公課１７５，０００円　⑩事務費２４，０００円　役務費３０，０００円　⑪予備費（ホームページ保守料）８９，８８８円　支出合計　３，５７５，０００円

※　法人の財源確保については、自主財源を確保することが重要です。法人の事業に協賛していただける支援者の発掘・確保を全員で推進しましょう。

３　フット連盟審判員養成講習及び認定資格講習会の開催

令和８年７月５日（日）宮崎県延岡市で認定資格講習会の開催を予定しております。宮崎県では、第２６回全国障害者スポーツ大会宮崎大会を目指して審判員の養成講習会開催を準備していただいております。宮崎県ソフトボール協会特に、延岡市ではフット会場が予定されていることから計画的に取組んでいただいております。県や市の取組に感謝しております。

４　フット連盟連絡先情報　（パラスポーツ及びフットソフトボールについてのお問い合わせ、ご相談は

一般社団法人日本知的障がい者フットソフトボール連盟まで　（ＴＥＬ　０８３－９８６－２０５４）

（予告）令和８年６月１２日（金）定時社員総会　６月１２日（金）第２回理事会

（連絡先）　〒747-1221　山口市鋳銭司１０８１２番地１　社会福祉法人るりがくえん　気付　（担当：内山之彦、三枝啓巳）
Ｅ-ｍａｉｌ　ruri-ne1@c-able.ne.jp（内山之彦）　Ｅ-ｍａｉｌ　ruri-jy1@c-able.ne.jp（三枝啓巳）
HP:https://jpifsa.com